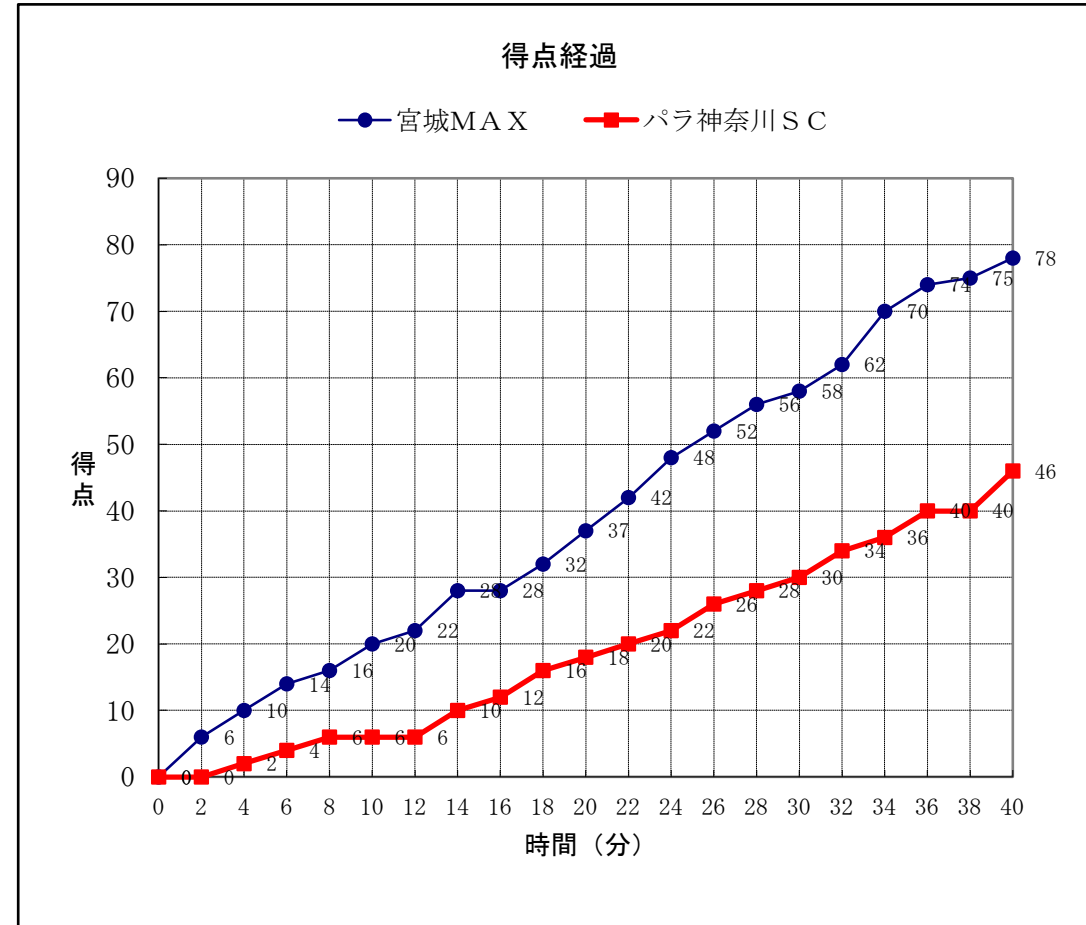


「東日本大震災」被災地復興支援 内閣総理大臣杯争奪  
第40回記念日本車椅子バスケットボール選手権大会  
個人トータル表

2012年5月3日 10時00分開始																	
3回戦					東京体育館					A - 4							
◎ 宮城MAX 78 (東北) ( 20 1クォーター 6 17 2クォーター 12 21 3クォーター 12 20 4クォーター 16 ) 46 パラ神奈川SC (関東)																	
番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則	番号	氏名(持ち点)	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	豊島 英 (2.0)	2	0	1	0	-	-	3	6	小嶋 謙 (1.0)	0	0	0	0	-	-	2
* 5	藤本 怜央 (4.5)	33	1	14	2	-	-	0	* 7	矢守 睦 (1.5)	0	0	0	0	-	-	0
* 6	東海林 和幸 (1.0)	0	0	0	0	-	-	1	* 8	園田 康典 (3.5)	6	0	3	0	-	-	3
7	五十嵐 雄也 (2.5)	0	0	0	0	-	-	0	9	齋藤 尚徳 (4.5)	-	-	-	-	-	-	-
8	佐藤 聡 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 10	高橋 直哉 (4.0)	20	0	9	2	-	-	3
* 9	増渕 倫巳 (3.0)	17	0	8	1	-	-	3	11	土屋 武司 (4.0)	2	0	0	2	-	-	5
* 10	中澤 正人 (4.0)	14	0	6	2	-	-	0	12	中嶋 泰生 (1.5)	-	-	-	-	-	-	-
11	加藤 芳博 (3.0)	2	0	1	0	-	-	0	* 13	神保 康広 (3.0)	4	0	2	0	-	-	3
12	大槻 智志 (4.0)	0	0	0	0	-	-	0	* 15	石川 丈則 (1.5)	14	0	7	0	-	-	2
13	高橋 浩則 (2.5)	2	0	1	0	-	-	1									
14	向後 寄夫 (1.5)	2	0	1	0	-	-	0									
* 15	藤井 新悟 (1.5)	6	0	3	0	-	-	1									
16	菅原 志朗 (1.0)	0	0	0	0	-	-	0									
HC	岩佐 義明								HC	金子 幸広							
AC	石川 大介								AC	西川 広実							
マネージャー	岩佐 望美								マネージャー	齋藤 美佳							
マネージャー	岩佐 絵里								マネージャー	森井 友衣							
マネージャー	会田 優								トレーナー	三嶽 大輔							
トレーナー	岩佐 康太																
合計		78	1	35	5	0	0	9	合計		46	0	21	4	0	0	18
主審： 加藤 昌樹 副審： 田畑 洋 副審： 水田 靖士																	



〔 戦 評 〕

1Q：宮城MAX 6、15、10、9、5/パラ 10、7、8、13、15で試合がスタート。  
ジャンプボールMAX9番からの得点で始まった。たちあがり8得点を決め点差を広げる。開始3分、点差10点ですかさずパラタイムアウト。  
開始6分パラ15番のシュートで初得点。パラのディフェンスが良いためMAXは、アウトシュートでの攻撃が主体なる。この時点で16-6、点差10得点で1Q終了。

2Q：パラがメンバーチェンジで6、11が入りスタート。  
MAX5のシュートで始まり、MAX9のカットインをファールでとめるもカウントからのフリースローを決められ。25-6  
パラのディフェンスの良さは、2Q目も続き、MAXもなかなか中での勝負も出来ない状況になる。MAXにくらべ、パラは、なかで勝負するも、高さが足りないためボールカットされる。パラも8、15のシュートで点差を縮めようとするがなかなか、点差が縮まらず、苦戦し残り1分30秒あたりですかさずタイムアウトでこの状況を打開策をねる。一方MAXは、パスカットからの攻撃で点を上げていく。  
2Q最後にパラの15番のブザービートで一死報う。

3Q：パラはスタートのメンバーに戻し始まる。開始1分MAX5番3Pシュートでばらの出鼻をくじく。すぐにパラ10がシュートを決め反撃、パラのディフェンスに対し、MAXは確実なピックアンドロールで点差を広げる。  
一方パラに対してのディフェンスは、MAX5番を中心にパスカットからの攻撃が目立った。残り3分でMAXが2人のメンバーチェンジし、新たな攻撃スタイルで攻撃し、28点差をつけ終了。

4Q：点差を縮めたいパラ側は、子供の応援で後押しされスタート。お互いに激しいファウルで始まり、着々と点差決めていく。  
3分経過後、パラのシュート率が落ち、一方MAXのシュートは好調をキープ残り4分パラの10番のシュートが決まり始め、このまま点差を縮めたいところだ！  
しかし、MAX9番のカットイン、リターンパス、シュートでパラは苦戦する。  
残り3分MAX側で5枚のメンバーチェンジでパラ側を翻弄する。  
パラは、マンツーマンディフェンスで8秒を狙い、マイボールにする。  
MAXは、9と5のチェックが厳しくなり、苦戦。のこり1分、75-44となり。パラ